

新古茶道具 宮原 第十号 初春の茶道具

「新古茶道具 宮原」の宮原と申します。
平素はご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和五年度は誠に有難う御座いました。
令和六年度も何卒お願ひいたします。

当店は古儀茶道藪内流の茶道具を中心に扱う茶道具店になります。

もちろん他流のお客さまにも楽しんでいただけますよう
誠意努力させていただきますので何卒
御用命のほどよろしくお願ひいたします。

気になるお道具がございましたら電話(ショートメールも可)、
メールなどにてご連絡くださいまし。

ご連絡いただいた商品から順番に対応させていただきます。

西本願寺、藪内流御家元の近くにギャラリー兼茶室も
ございます。

実物の確認も可能ですので京都にいらっしゃる機会には
必ずご予約の上ご来店くださいませ。

(常時開店はしておりません。)

店主 宮原 隆洋



ご成約済み

仁清写日ノ出鶴茶碗 銘「南山」 透月斎箱



藪内流11代透月斎宗匠箱の仁清写し日ノ出鶴茶碗で銘を「南山」となっております。南山の寿といわれ人の長寿を祝う言葉で中国の長安(現在の西安)にある終南山が崩れることがないのと同じように、いつまでも健康で長生きするという縁起担ぎです。14代永楽善五郎妙全の作。

共箱 直径約11.5cm 高さ約7.5cm
¥100,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み



夜寒焼山水靈芝絵茶碗 梅莊画



夜寒焼の山水靈芝絵のお茶碗で明治後期から大正にかけ日本の画壇の最高峰であった山本梅莊絵付けのお茶碗です。梅莊が得意とした山水の画と靈芝、それにあわせた「千歳不朽」の文字が書かれています。夜寒焼は名古屋市の夜寒村で明治初期から焼かれた陶芸です。

桐箱 縦約15cm 横約14cm 高さ約6cm
¥35,000(税込)



狂言袴象嵌筒茶碗

李朝の狂言袴象嵌筒茶碗になります。象嵌は器の表面を彫り、その彫った部分に色のちがう粘土を嵌めこんで模様をつけます。粘土を嵌めこんだ後釉薬をかけて本焼するとできあがります。

時代箱 直径約9.5cm 高さ約9cm
¥55,000(税込)



赤楽茶碗 稲荷土を以て 銘「瑞芳」

稻荷土を以て造られた赤楽茶碗で伏見稻荷の守屋宮司が「瑞芳」の揮毫をされています。伏見稻荷大社には小間の茶室である「瑞芳軒」もあり由縁の強い言葉でもあります。蓋内流12代透月斎宗匠の箱。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥50,000(税込)



萩焼筒茶碗 銘「露滴」 竹鳳箱

萩焼の筒茶碗で蓋内流8代真々斎竹翁の次男である蓋内竹鳳の箱で銘を「露滴」となっております。大変出来の良く、手取りの良い筒茶碗です。

共箱 直径約9.5cm 高さ約9cm
¥130,000(税込)



ご成約済み



ご成約済み

ご成約済み



絵高麗写龍の絵茶碗 猪々斎箱・在判

絵高麗写の鉄絵龍の絵茶碗で蓋内流12代猪々斎宗匠箱、在判のお茶碗となっております。2024年の干支は辰になりますのでこうしたお茶碗が重宝されます。

共箱 直径約12.5cm 高さ約7cm
¥40,000(税込)



梅の絵茶碗 永楽善五郎作 森寛斎下絵

永楽善五郎作の梅の画茶碗で蓋内流11代透月斎宗匠が箱を書かれています。明治の画壇であった森寛斎の絵付けで12代永楽善五郎和全の作。北野天満宮奉納五種茶碗の残余のうちの一つで永楽の草書印は蓋内家専用の逃え印になります。

共箱 直径約13cm 高さ約6cm
¥88,000(税込)



赤楽茶碗 楽弘入作



12代楽吉左衛門弘入作の赤楽茶碗になります。印とくぎ彫り銘のある御作で大変上作の赤楽茶碗です。

共箱 直径約12cm 高さ約8cm
¥280,000(税込)



仁清写扇面絵皆具 平安覚山作

京焼の陶工である平井覚山作の仁清写し扇面絵皆具になります。美しい扇面と四季草花が描かれています。



共箱 水指 直径約16cm 高さ約15cm
杓立 直径約10cm 高さ約16cm
蓋置 直径約6cm 高さ約6cm
建水 直径約14cm 高さ約8cm
¥50,000(税込)

御本写茄子茶碗 通次阿山作



京焼の陶工である通次阿山作の御本写し茄子の画茶碗になります。夏にも使えますが正月初夢の事、「一富士二鷹三茄子」ともいわれますので初釜にもお使いいただけます。

共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm
¥30,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み



金彩竹の絵茶碗 永楽善五郎作 猪々斎箱

15代永楽善五郎正全作の金彩竹の画茶碗で、内流12代猪々斎宗匠の襲名前のお箱で紹光の箱書きのあるお茶碗になります。笹絵のお茶碗は11代の透月斎宗匠と並んで好まれています。

共箱 直径約11.5cm 高さ約7.5cm
¥80,000(税込)



真呉器茶碗 銘「みくりや」内田浩一郎作

陶芸家の内田浩一郎作の真呉器茶碗で銘を「みくりや」となっています。「みくりや」とは神饌（しんせん、神様に捧げる食べ物）を用意する場所のことです。呉器という祭器にも近い形状のお茶碗をつけられたのではないでしょうか。

共箱 直径約14cm 高さ約9cm
¥140,000(税込)



黒印散らし茶碗 銘「連城」長樂作 透月斎箱

楽焼の陶工である小川長樂作の黒印散らし茶碗で、内流11代透月斎宗匠が銘を「連城」としています。秦の昭王が15個の城と交換したいと申し入れた趙の恵文王の所蔵していた玉の事で転じて、またとない宝物という意味があります。

共箱 直径約13cm 高さ約8cm
¥150,000(税込)

ご成約済み

紫野焼黒茶碗 大徳寺焼印箱



紫野（むらさき）焼は京都紫野大徳寺門前あぶり餅屋の主人鶴亭が始めたとされる楽焼で江戸後期に焼かれ「紫」の款があります。その文字は松月庵宝和尚の書であるといいます。紫野焼の黒茶碗になります。こちらは大徳寺三玄院のご住職であった藤井誠堂和尚が再興された紫野焼になります。

焼印箱 直径約12cm 高さ約8.5cm
¥38,000(税込)

御本立鶴写茶碗 休々斎箱



御本立鶴写しのお茶碗で藪内流10代休々斎宗匠のはことなっております。本手立鶴（本歌にあたる茶碗たち）は將軍家光が細川三斎の祝いに画いた立鶴を下絵としたといえもあり釜山の豆毛浦倭館の開窯が寛永十六年（1639年）開窯早々の作とみられます。こちらの茶碗は明治の作（150年ほど前）。

共箱 直径約11cm 高さ約8cm
¥88,000(税込)

唐津茶碗



時代の唐津焼の茶碗となっております。鉄釉の景色や石ハゼ、三日月高台など見所の多い唐津茶碗です。佐賀県唐津市は今でも大変な陶芸の産地です。

時代箱 直径約13cm 高さ約8cm
¥100,000(税込)

虫明桜の画茶碗 透月斎箱



虫明焼の桜絵の茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。虫明焼は江戸の中期、岡山藩で焼かれた御庭窯で京都の清水から陶工を招き技術を磨いたと言われています。

共箱 縦横約11.5cm 高さ約7cm
¥88,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み



黒赤松梅絵茶碗 一雙 休々斎作・箱



黒内流10代休々斎宗匠のお手造りの黒楽の
松絵茶碗と赤楽の梅絵茶碗の一雙になります。
明治35年に奉納されたものですが奉納先は明記されていません。松の画は
北野天満宮の大萬燈祭に歴代の御家元が奉
納されていたお茶碗にとても良く似ています。
梅の茶碗は少し緑かった釉薬がかかっており、
黒内釉が使われているようです。
黒内釉とは黒内流の御家元が手造り茶碗
を焼かれる際に使われ焼かれたとき緑色に
発色する釉薬で樂家に預けられていたと言
われています。製法は秘匿され透月斎宗匠
時代に最後の釉薬を使い切り続いて作るこ
とができなくなってしまいました。割れを
梅の金蒔絵で補修の後あり。

共箱 黒 直径約13cm 高さ約7cm
赤 直径約13cm 高さ約8cm
¥350,000(税込)

ご成約済み

朱塗重ね餅棗 橋口宗栄作



朱塗の重ね餅形棗で、内流の塗師である橋口宗栄の作となっております。お正月、初釜などに。

共箱 直径約6cm 高さ約6cm
¥48,000(税込)

ご成約済み

木地中棗 久須来郎作



吹き漆のされた木地中棗で、明治のころに大阪で活躍し、内流10代休々斎宗匠の道具を多く手掛けた指物師の久須来郎作。

共箱 直径約7cm 高さ約7cm
¥40,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み



火焰太鼓蒔絵中棗 雄峯作



山中塗の塗師である坂下雄峯作の火焰太鼓蒔絵中棗になります。桜に楓に火焰太鼓、そして陣幕の蒔絵がなされています。

共箱 直径約6.5cm 高さ約7cm
¥40,000(税込)



朱俱利中次棗



朱の俱利中次になります。俱利とは堆朱や堆黒などで掘られた蕨や渦、唐草文様の彫り物の意匠で仏具などにも多く見られます。

桐箱 直径約7.5cm 高さ約7cm
¥70,000(税込)

ご成約済み



誰ヶ袖蒔絵棗 一雙 建作



輪島塗の塗師である松村建の作の誰ヶ袖蒔絵棗の一雙になります。『誰が袖』は「誰が袖図屏風」図から由来し桃山時代から江戸時代にかけて流行した様々な豪華な女性の衣裳を衣柄にかけた図のことです。

共箱 直径約7.5cm 高さ約7.5cm
¥98,000(税込)

ご成約済み

高取焼肩衝茶入 高取喜恵作

高取焼の陶工である高取喜恵作の肩衝茶入になります。薄造りでとても軽いお茶入れです。仕服が2点添えられています。

共箱 直径約5cm 高さ約8.5cm
¥40,000(税込)

膳所焼肩衝茶入 陽炎園製 林焦庵箱

膳所焼の陽炎園製の肩衝茶入で蓋内流11代透月斎宗匠の次男で猗々斎宗匠の弟である林焦庵宗匠箱になります。

共箱 直径約5cm 高さ約9cm
¥25,000(税込)

肥後焼広口茶入 銘「残雪」休々斎箱

肥後焼の広口茶入で蓋内流10代休々斎宗匠が銘を「残雪」とされています。茶入れの胴にかかる釉薬からの命名でしょうか。肥後焼は熊本の江戸中期頃に焼かれた陶芸になります。

共箱 直径約8cm 高さ約6cm
¥88,000(税込)

黒薩摩平茶入 銘「猿が島」

黒薩摩の平丸茶入れで蓋内流11代透月斎宗匠が銘を「猿ヶ島」とされております。口元に割れの共直しがあります。

共箱 直径約7.5cm 高さ約5cm
¥100,000(税込)

黄瀬戸肩衝茶入

時代の黄瀬戸肩衝茶入になります。轆轤目と釉の掛りの美しい茶入れで仕服が2点と曳家がそっています。

仕立て箱 曳家 直径約7cm 高さ約9cm
¥150,000(税込)

ご成約済み

猗々斎作 茶杓 「千歳の友」



藪内流12代猗々斎宗匠作の竹茶杓で銘を「千歳の友」とされています。千歳は言葉の通り長い年月を指し茶席にいらっしゃるお客様を思い使ったり、お茶を友として長く学ぶ為にも大変良い銘です。

共箱 共筒 長さ約18cm
¥88,000(税込)

透月斎作 茶杓 「福寿草」



藪内流11代透月斎宗匠作の茶杓で銘を「福寿草」となっています。福寿草は新春を祝う意味があり、縁起物の植物として江戸時代から栽培されてきました。

共箱 共筒 長さ約18.5cm
¥110,000(税込)

透月斎作 茶杓 「晴天鶴」



藪内流11代透月斎宗匠作の茶杓で銘を「晴天鶴」となっています。晴天鶴は日の出に鶴という縁起のいい言葉で長唄などでも歌われます。

共箱 共筒 長さ約18.5cm
¥120,000(税込)

透月斎作 茶杓 「麗姿」



藪内流11代透月斎宗匠作の茶杓で銘を「麗姿」となっています。麗姿（れいし）は読みの通り美しい姿、という意味になり茶杓も染み竹の美しい竹を用いています。

共箱 共筒 長さ約18.5cm
¥100,000(税込)

透月斎作 茶杓 「萬歳」



藪内流11代透月斎宗匠作の茶杓で銘を「萬歳」となっています。喜寿の作となっており透月斎宗匠は78歳で逝去されましたので一年前の晩年作になります。

共箱 共筒 長さ約18.5cm
¥130,000(税込)

ご成約済み

「龍孫」青々斎宗匠筆 小品軸装



藪内流13代青々斎宗匠筆の小品軸装で「龍孫」となっております。龍孫（りゅうそん）は竹の子の事を指し竹の勢いよく伸び天に育つ様を当ててそう呼ばれる様になったようです。龍は令和6年の干支でもあります。

桐箱 高さ約100cm 幅約20cm
¥15,000(税込)

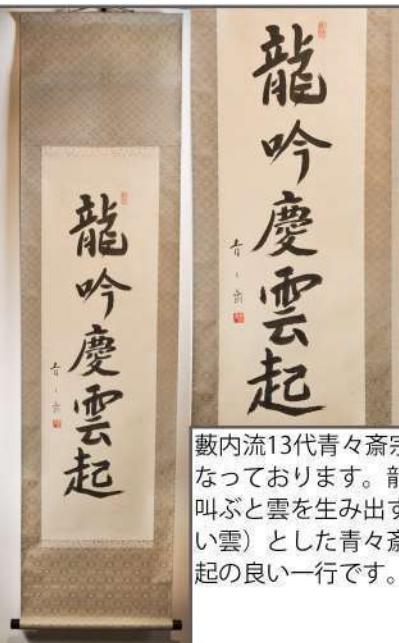
寒鴉図 上田耕甫筆



明治から昭和にかけて活躍した南画家の上田耕甫筆の寒鴉（かんあ）図になります。大阪の絵師で父親の上田耕冲を師とし花鳥画を得意としました。葉が落ちた木々に止まる鴉は冬の風合いを出し、晩冬の季語でもあります。

共箱 高さ約190cm 幅約31cm
¥20,000(税込)

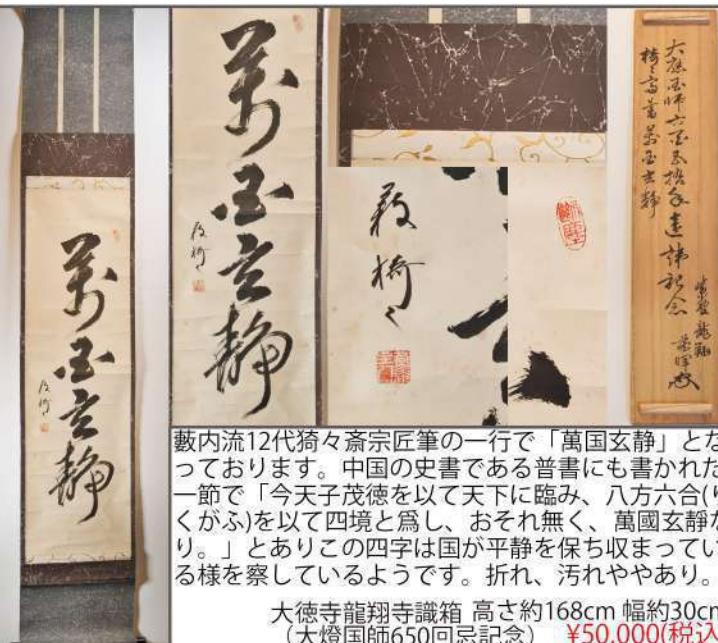
「龍吟慶雲起」一行 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の一行で「龍吟慶雲起」となっております。龍吟雲起 虎嘯風生の禅語から龍は叫ぶと雲を生み出すとされそこから慶雲（縁起の良い雲）とした青々斎宗匠の造語でしょうか。大変縁起の良い一行です。

桐箱 高さ約168cm 幅約41cm
¥38,000(税込)

「萬国玄静」一行 猹々斎筆



藪内流12代猩々斎宗匠筆の一行で「萬国玄静」となっております。中国の史書である普書にも書かれた一節で「今天子茂徳を以て天下に臨み、八方六合（りくがふ）を以て四境と爲し、おそれ無く、萬國玄静なり。」とありこの四字は国が平靜を保ち収まっている様を察しているようです。折れ、汚れややあり。

大徳寺龍翔寺識箱 高さ約168cm 幅約30cm
(大燈国師650回忌記念) ¥50,000(税込)

ご成約済み

「山呼萬歳聲」一行 透月斎筆

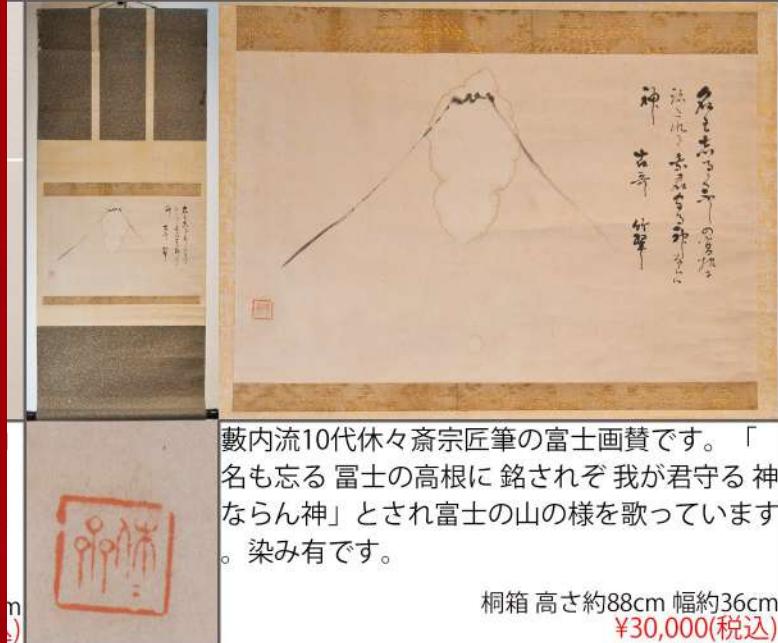


藪内流11代透月斎宗匠筆の一行で「山呼萬歳聲」となっております。この言葉は前漢の武帝が正月に五岳の一つである嵩山に登り山を祀り国家の安泰を祈った時「万歳」と挙げた声がこだまし「万歳 万歳 万々歳」と聞こえた古事によるものです。大変めたい一行です。

桐箱 高さ約177cm 幅約34cm
¥90,000(税込)

富士画贊 休々斎筆

ご成約済み



藪内流10代休々斎宗匠筆の富士画贊です。「名も忘る富士の高根に銘されぞ我が君守る神ならん神」とされ富士の山の様を歌っています。染み有です。

桐箱 高さ約88cm 幅約36cm
¥30,000(税込)

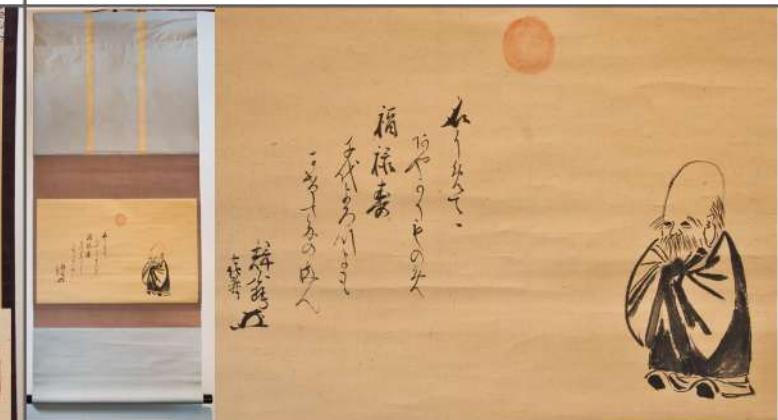
「雄徳」横書 猹々斎筆



藪内流12代猩々斎宗匠筆の横書で「雄徳」となっております。雄々しく徳だかいといった意味でしょうか。力強い筆になっています。

桐箱 高さ約113cm 幅約46cm
¥55,000(税込)

寿老人画贊 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の寿老人画贊になります。「名にめてあやかりものめ福寿禄千世よろずよもあけてたのまん」とあり日の出が寿老人という徳の高い人の願いを叶える。すべてのものの願いが良い方向へ向かう、といった歌のようです。ぜひ初釜などに。

桐箱 高さ約117cm 幅約50cm
¥100,000(税込)

石籠画贊 休々斎筆 新年祝い唄



藪内流10代休々斎宗匠筆の石籠画贊で「大御代（おみよ）を言祝（ことほ）おとし聞こゆなり年新たなる富士の川水」となっております。石籠、蛇籠（じやかご）ともいい竹材や鉄線で編んだ長い籠に碎石を詰め込んだもので、河沿いを守るものとして作られていました。大御代とは天皇がお治めになる世のことを指し富士の山からの雪解けの初水が平穏を歌っている様のようです。

桐箱 高さ約103cm 幅約38cm ¥88,000(税込)

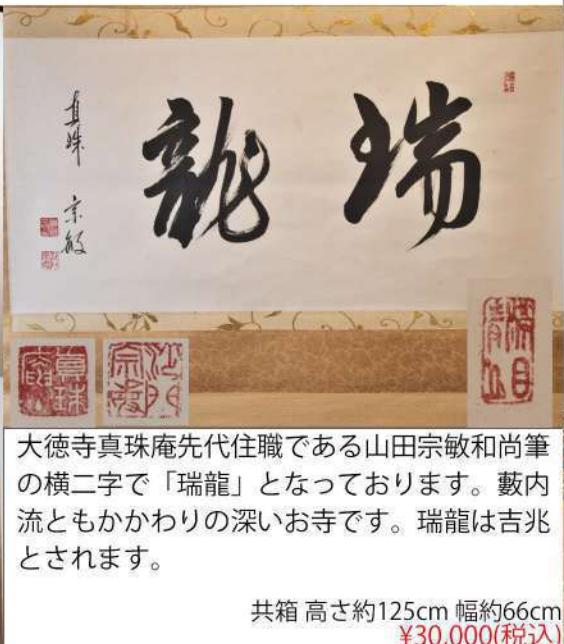
「萬歳」透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の二字で「萬歳」となっております。勢いの良い筆で昭和13年、晩年の筆となっております。縁起良く目出度い一行です。

共箱 高さ約142cm 幅約32cm
¥128,000(税込)

「瑞龍」横書二字 真珠庵宗敏筆



大徳寺真珠庵先代住職である山田宗敏和尚筆の横二字で「瑞龍」となっております。叢内流ともかかわりの深いお寺です。瑞龍は吉兆とされます。

共箱 高さ約125cm 幅約66cm
¥30,000(税込)

「一期一会」横書 小林太玄和尚筆



大徳寺黄梅院の小林太玄和尚筆の横書で「一期一会」となっております。

共箱二重箱 高さ約139cm 幅約69cm
¥30,000(税込)

豆画贊 「多福」 猪々斎筆



叢内流12代猪々斎宗匠筆の豆画贊で「多福」となっております。多くの福に恵まれるようにとの思いのこもった画贊です。節分時期の画贊になります。

共箱 高さ約99cm 幅約36cm
¥22,000(税込)

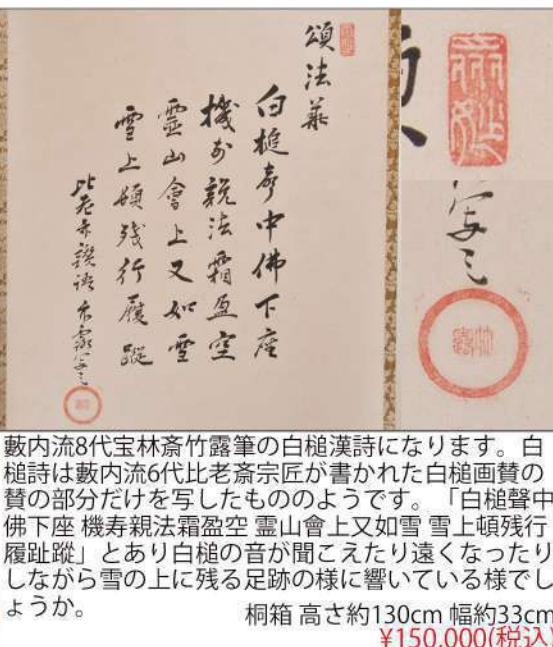
「静者心自妙」一行 透月斎筆



叢内流11代透月斎宗匠筆の一行で「静者心自妙」となっております。「静者、心自（おのず）から妙なり」となり、物静かにして落ち着きのある人はその心が自ら玄妙である。玄妙はお茶の境地ともいわれる言葉です。床に掛け心穏やかにお茶に向いあう為のお軸ともいえます。

共箱 高さ約171cm 幅約40cm
¥100,000(税込)

白槌詩 比老斎写 竹露筆



叢内流8代宝林斎竹露筆の白槌漢詩になります。白槌詩は叢内流6代比老斎宗匠が書かれた白槌画贊の贊の部分だけを写したものになります。「白槌聲中佛下座 機壽親法霜盈空 靈山會上又如雪 雪上頓殘行履蹤」とあり白槌の音が聞こえたり遠くなったりしながら雪の上に残る足跡の様に響いている様でしょうか。

桐箱 高さ約130cm 幅約33cm
¥150,000(税込)

ご成約済み